

平成21年度岩手県立博物館教育普及事業
郷土の自然のおいたちを探るシリーズ第57回

地質観察会
げんびこうざん
一関市巖美礦山の新第三紀貝化石

—竜の口の海の豊かな生物たち—

実施要項

1 目的

博物館の展示資料を見る段階から一步進めて、参加者が実際に地層の観察などを行うことにより、郷土の自然のしくみとそのおいたちを理解し、自然に対する興味と関心を深める。

2 主催 岩手県立博物館・一関市博物館・岩手県立博物館友の会

3 協力 株式会社アームロック

4 後援 岩手県地学教育研究会

5 日時 平成21年7月5日(日) 10:00~15:00 小雨決行

6 開催場所 一関市巖美町 (株)アームロック 巖美礦山・一関工場, 一関市博物館

7 時程

- 9:45~10:00 一関市博物館ロビー集合, 受付・参加確認
- 10:00~10:15 開会行事(主催者挨拶, 観察・採集地の説明)
- 10:15~10:30 (株)アームロック採掘場(観察・採集場所)へ移動(自家用車等)
- 10:30~11:45 観察・採集場所で, 竜の口層の観察と貝化石の採集
- 11:45~12:00 一関市博物館へ移動
- 12:00~13:00 昼食
- 13:00~13:40 竜の口層と化石に関する解説会
- 13:45~14:50 標本作製の実習
- 14:50~15:00 閉会行事, 解散

8 案内・誘導 (株)アームロック一関工場 工場長 阿部 幸男氏
岩手県立博物館 学芸第一課長 大石 雅之
" 学芸第二課長 吉田 裕生
" 解説員 齋藤 菜穂美
" 解説員 畠 香奈子
一関市博物館 職員2名予定

9 参加対象および人数

小学校高学年以上の一般, 40名程度。小・中・高校生では保護者の承諾を受けた方に限ります。

※一関市博物館から観察・採集場所へは, 自家用車等で移動します。車のない方のために, 同乗をお願いする場合があります。

10 参加者が用意するもの

ハイキングの服装(長靴または軽登山靴と軍手が必要)・健康保険証・雨具・筆記用具・ハンマーまたは金づち・タガネまたは5寸くぎ・筆(使い古しもので可)・古歯ブラシ・ポリ袋(なるべく厚手のもの)・古新聞紙・油性のフェルトペン・リュックサック・昼食。ほかに, ツルハシ・ルーペまたは虫メガネ・カメラ・国土地理院発行の1/25,000地形図『平泉』があれば便利です。

11 参加申込方法

6月5日(金)から6月30日(火)までの間に, 次のいずれかの方法で申し込んで下さい。

①往復葉書による方法

往復葉書に, 参加者全員の住所・氏名・年齢・連絡先の電話番号を明記して

020-0102 盛岡市上田田字松屋敷 34 岩手県立博物館学芸部地質観察会担当 あてに申し込んで下さい。受付締切日当日の消印は有効です。

②電子メールによる方法

参加者全員の住所・氏名・年齢・連絡先の電話番号を明記して、次のアドレスに送信して下さい。
g57genbi@iwapmus.jp

このアドレスは今回の地質観察会への申し込み専用です。受付終了日以降はアドレスが削除されますので使用はできません。

先着順に受け付けますが、締切日前でも定員になり次第、締め切らせていただきます。折り返し、参加の可否や持ち物・集合場所等について連絡いたします。電話での申し込みは受け付けません。参加が不可能になった場合には、早めに連絡下さい。

12 参加料

傷害保険料および資料代として、ひとり200円を当日受付でいただきます。

13 みどころ

一関市の巖美町から平泉町にかけての丘陵には、今から約500万年前（最後期中新世～前期鮮新世）の地層（竜の口層）が分布しています。この地層は、仙台から北上付近まで海が進入してできた当時の入江に土砂がたまってできたもので、貝類などの化石が豊富に含まれています。今回の開催地は、竜の口層からカキ化石を露天掘りして、肥料や飼料に加工しているたいへん珍しい鉱山です。また、ここからは、ほぼ完全な鯨の化石も発見されています。

この観察会では、地層を観察し、そこに含まれる化石を採集しながら、郷土の自然のおいたちを探ります。

14 問い合わせ先 岩手県立博物館 〒020-0102 盛岡市上田字松屋敷 34

電話 019-661-2831 ファックス 019-665-1214

一関市博物館 〒021-0101 一関市巖美町字沖野々 215

電話 0191-29-3180 ファックス 0191-33-4006

15 広報文

(1) 約150字

一関市の巖美町には、今から約500万年前の地層が分布しています。この地層は、当時の入江に土砂がたまってできたもので、貝類などの化石が豊富に含まれています。今回の観察会では、この地層からカキ化石を採掘して肥料や飼料に加工している鉱山で、地層の観察と化石の採集を行い、郷土の自然のおいたちを探ります。

(2) 約40字

一関市内のカキ化石を採掘している鉱山で、500万年前の地層から貝化石の採集を行います。



観察地付近の地形図（国土地理院発行 1/25,000 地形図『平泉』を改変して使用）